

平成28年度 学校教育自己診断アンケートの生徒・保護者・教員の三者比較について

	生徒	保護者	教員
1 意識	学校へ行くのが楽しい。 1年 65%、2年 74%、3年 79% 全体 73%	子どもは学校へ行くのを楽しみにしている。 78.5%	生徒は学校生活を有意義に送っている。88.3%
2 学習指導	授業の教え方に様々な工夫をしている先生が多い。 1年 74%（四択）2年 93%（三択） 3年→96%（三択）全体→88%	子どもは学校の授業が分かりやすく <u>楽しい</u> といっている。61.6% 学校の選択科目は子供の興味・関心に応じている。84.8%	授業は生徒に十分に理解されるように工夫されている。 91.7% 選択科目は興味関心に応じている。86.7%
	授業が難しい。 1年 88%、2年 85%、3年 71% 全体 81%	学校の選択科目は子供の進路希望に応じている。88.1%	選択科目は進路希望に応じている。78.3%
3 生徒指導	自分は生徒指導上のルールを守っている。1年 93%、2年 92%、3年 92%、全体 92%	学校の生徒に生命を大切にす態度や社会ルールを守る態度を身に着けるための指導は適切である。83.7%	生命を大切にす態度や社会ルールを守る態度を身に着けるための指導は適切である。 83.3%
		学校の生徒指導の方針に共感できる。82.1%	
4 進路	学校は将来の進路や、生き方について考える機会を与えてくれる。 1年 84%、2年 78%、3年 87% 全体 83%	学校の進路や職業、科目選択、キャリアガイダンスは適切である。86.2%	生徒一人ひとりが興味・関心・適性に応じて進路選択できるよう、きめ細かい指導を行っている。83.1%
		子どもと家庭で将来の進路のことでよく話し合うことがある。86.2%	
5 人権	適切な人権感覚や社会ルール、マナーを人学ぶ機会を与えてくれる。 1年 82%、2年 80%、3年 89%、 全体 84%	学校はすべての教育活動において、生徒の人権を尊重する姿勢で指導に当たっている。 83.6%	人権教育の機会と内容は適切である。91.7%
		子どもは適切な人権感覚を身に着けている。 93.4%	
6 情報提供	学校は進路や入試関係等の教育情報について知らせてくれる。 1年 81%、2年 86%、3年 93%、 全体 87%	全般的に学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的に極め細かく行っている。64.8%	家庭への連絡や意思疎通を積極的にきめ細かく行っている。 85.0% 教育活動に必要な情報について、生徒・保護者・地域への周知に努めている。 79.7%
		学校の地震や台風など緊急時のマニュアルは適切である。86.8%	
		学校は教育情報の提供に努力している。 75.2%	
		学校の授業公開や学校行事に参加・見学したことがある。69.0%	
7 行事等	文化祭について満足している。1年 85%、2年 69%、3年 90%、全体 82% 体育祭について満足している。1年 79%、2年 73%、3年 87%、全体 80% ※生徒会アンケート（行事直後実施） （文化祭 91%、体育祭 95%）	学校の文化祭や体育祭、などの学校行事は活発である。84.9%	文化祭・体育祭などの学校行事は活発である。85.0% 部活動は活発である。91.7%
		学校の部活動は活発である。89.4%	
8 相談	担任の先生以外にも保健室や相談室などで気軽に相談できる先生がいる。1年 36%、2年 33%、3年 59%、全体 43%	学校は子どもの悩みや相談に適切に応じてくれる。75.2%	生徒は担任以外の教職員とも相談することができる。73.3%
9 環境	学校の施設・設備には満足している。1年 51%、2年 51%、3年 74%、 全体 59%	学校の学習環境としての施設・設備は満足できる。73.5%	施設・設備は、生徒の学習環境に適している。61.7%
		自由記述（トイレ改修、夏場冷房、冬場暖房）	